

瓦	礫	類	。	伐	採	木	管	理	票
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

計上No.	6013102 - 0002
-------	----------------

作業主 管 欄	保管希望日時		2018年6月22日			(金)		9:00			承認		審査		作成		
	作業件名		土捨場北側土地造成工事														
	発生場所		1F 土捨場北側土地造成工事エリア内 (GM-06 東)									2018/6/19		2018/6/19		2018/6/19	
	作業主管 G		廃棄物基盤グループ					監理員					TEL				
	元請会社							担当者					TEL				
G 記 入 欄 メモ	線量測定年月日		2018/6/18		測定者				測定器名		ICWBL			管理番号		F1-ICWBL-74	
	No.	保管物名		※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
				①	②	③											
	1	大型土囊	A	04	D	B	5	m ²	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	無				
	2							m ²									
	3						m ²										
	4						m ²										
	5						m ²										
	巡回																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	06	—	0189	
調整後保管日時		2018年6月26日			8:00
【保管時の指示事項等】					
日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年6月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	大型土嚢	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h		エリアO	2018/6/26 8:00	4.3	m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012319 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	06	—	0190	
					2018/6/19
調整後保管日時		2018年6月27日			10:30
【保管時の指示事項等】					
日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年6月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業主管理	保管希望日時	2018年6月26日				(火)		10:30		承認	審査	作成				
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務														
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ(GJ-14北東)								2018/6/19	2018/6/19	2018/6/19				
	作業主管G	分析評価グループ					監理員				TEL					
	元請会社						担当者				TEL					
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/6/18		測定者				測定器名		$\beta \cdot \gamma$ 電離箱		管理番号		F1-ICWBL-122		
	No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
					①	②	③									
	1	プラスチック・ホリ・ビニール類			A	02	D	A	4	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類			A	01	D	A	1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3								m ²							
	4								m ²							
5								m ²								
	【回収】注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。1号車希望															

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/27 10:40	3.2	m ³			1
	2	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/27 10:40	1	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0011	
作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月26日			(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機海側周辺構内整備工事									
	発生場所	3・4号機サービスビル建屋周辺(GI-24)							2018/6/19	2018/6/19	2018/6/19
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/6/18	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無 β有	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃・β残土・トンパツク	B	04	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	0.15 mSv/h	
	2						m ³				
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	06	—	0194	2018/6/19
調整後保管日時		2018年6月26日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年6月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				10	μ Sv/h	55	μ Sv/h	270	μ Sv/h						
1	1	1	不燃・β残土・トンパツク	10	μ Sv/h	55	μ Sv/h	270	μ Sv/h	エリアW1	2018/6/26 9:00	4 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月27日		(水)	10:00		承認	審査	作成					
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事												
	発生場所	福島第一原子力発電所 (GK-17東側)						2018/6/20	2018/6/20					
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
G	線量測定年月日	2018/6/18		測定者			測定器名	ICS-323C						
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率					
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3	可燃その他	A	04	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
4							m ²							
5							m ²							
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0195
				2018/6/20
調整後保管日時		2018年6月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/27 10:30	3.3 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/27 10:30	2.8 m ²			1
	3	1	可燃その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/27 10:30	0.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0196
				2018/6/20
調整後保管日時		2018年6月29日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作 業 主 管 元 請 会 社 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月29日		(金)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア						2018/6/20	2018/6/20	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/6/18	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率	
	1	可燃物その他	A	04	D	B	4 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
メ モ	回収:GP-27南東									

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 8:20	6.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業主管理	保管希望日時	2018年6月28日		(木)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	56号機西側 引留鉄構下(GM-15北)				2018/6/20	2018/6/20	2018/6/20		
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
線量測定年月日	2018/4/10	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	PE管	C	04	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
メモ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0197
				2018/6/20
調整後保管日時		2018年6月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-127
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/28 8:30	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003		
作業主管理	保管希望日時	2018年6月28日		(木)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事										
	発生場所	56号機西側 引留鉄構下(GM-15北)						2018/6/20	2018/6/20	2018/6/20		
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
記入欄	線量測定年月日	2018/4/10		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	PE管	C	04	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2						m ³					
	3						m ³					
4						m ³						
5						m ³						
メ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0198
				2018/6/20
調整後保管日時		2018年6月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年6月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-127	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h					3	m ³			
1	1	PE管	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/28 8:30	3	m ³			1	
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ																	
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—				
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—				
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類				
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他				
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—				
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012801 - 0017	
作 業 主 管 G	保管希望日時	2018年6月28日		(木)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3 燃料取扱設備他点検									
	発生場所	3号機 屋内、屋外、棟(GT-25南)					2018/6/21	2018/6/21	2018/6/20		
	作業主管G	燃料設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/5/29	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-154			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	可燃	プラスチック・ポリ・ビニール(ブラバレット)	A 02 D B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	2	可燃	プラスチック・ポリ・ビニール	A 02 D B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
3	可燃	その他	A 04 D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無				
4					m ²						
5					m ²						
メ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0199
				2018/6/21
調整後保管日時		2018年6月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	可燃	プラスチック・ポリ・ビニール(ブラバレット) (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 9:00	2 m ²			1
2	1	可燃	プラスチック・ポリ・ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 9:00	1.5 m ²			1
3	1	可燃	その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 9:00	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012801 - 0017

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0200
				2018/6/21
調整後保管日時		2018年6月29日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業主 管 元 請 会 社 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月29日		(金)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	1F-3 燃料取扱設備他点検						
	発生場所	3号機 屋内、屋外、棟(GT-25南)				2018/6/21	2018/6/21	2018/6/20
	作業主管G	燃料設備グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/6/19	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-154
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
	1	可燃 木材類(パレット)	A 03	D B	2.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃 木材類	A 03	D B	2.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3				m ³			
4				m ³				
5				m ³				
メ モ	回収							

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	可燃 木材類(パレット)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 8:55	5 m ²				1
2	1	可燃 木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 8:55	2 m ²				1
								m ²				
								m ²				
								m ²				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013803 - 0016			
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年6月25日		(月)	8:00		承認	審査	作成						
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	G6エリア						2018/6/21	2018/6/21	2018/6/21					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
	線量測定年月日	2018/6/20		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04				
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無 β 有	$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	コンクリートガラ		B	02	D	B	10	m ²	0.003	mSv/h	0.02	mSv/h	0.08	mSv/h
	2							m ²							
	3							m ²							
4							m ²								
5							m ²								
メモ	土のうにてW1に運搬15袋														

線量測定内容											
測定日	2018年6月25日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-111								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				10	μ Sv/h	20	μ Sv/h	45	μ Sv/h			10	m ²			
1	1	1	コンクリートガラ	10	μ Sv/h	20	μ Sv/h	45	μ Sv/h	エリアW1	2018/6/25 8:20	10	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
				C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —	
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —	
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —	
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —	
				②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013112 - 0002			
作業主管理	保管希望日時	2018年6月25日		(月)	9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事											
	発生場所	G1エリア					2018/6/21	2018/6/21	2018/6/21				
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL					
	元請会社				担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/6/20	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
1	コンガラ		B	02	D	A	15 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h		
2							m ³						
3							m ³						
4							m ³						
5							m ³						
メモ	土のうにてW1に運搬15袋												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0202
				2018/6/21
調整後保管日時		2018年6月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンガラ	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	37 μ Sv/h	エリアW1	2018/6/25 9:30	15 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月25日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1エリア			2018/6/21	2018/6/21	2018/6/21			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/6/20	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンガラ	B	02	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h
2	シート	C	02	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.021 mSv/h
3	足場材	B	01	D	A	13 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.02 mSv/h
4						m ²				
5						m ²				
土のうにてW1に運搬15袋										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0203
				2018/6/21
調整後保管日時		2018年6月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	55 μ Sv/h	エリアW1	2018/6/25 10:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0022		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月25日		(月)	13:30		承認	審査	作成			
	作業件名	処理水バフファタンク取替設工事										
	発生場所	処理水バフファタンクエリア内(GK-19)						2018/6/21	2018/6/21	2018/6/21		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/6/19	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	F1-GMAD-14		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③								
	1	難燃物その他	C	04	W	A	3 m ³	40 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無		
	2						m ³					
	3						m ³					
	4						m ³					
5						m ³						
メ モ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0204
				2018/6/21
調整後保管日時		2018年6月28日		10:30
【保管時の指示事項等】				
日時調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年6月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 10:40	3.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
	注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。										
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。											

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013706 - 0002	
作業主管理	保管希望日時	2018年6月26日 (火) 10:30				承認		審査		作成			
	作業件名	1F-5号機 CD薬液タンク取替および同関連除却											
	発生場所	5号機CD薬液タンクエリア(GI-17北西)				2018/6/20		2018/6/20		2018/6/20			
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員		TEL					
	元請会社					担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/6/19		測定者		測定器名		ICW		管理番号 F1-ICW-061			
	記入欄	No.	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		
メモ	1	ポリ・ビニール袋				0.2 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h			
	2	角材				0.5 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h			
	3	可燃テープ				0.2 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h			
	4	トンバック				0.2 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h			
	5	紙ウエス				0.2 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h			
回収													

線量測定内容											
2018年6月27日											
測定日											
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥							
1	1	1	ポリ・ビニール袋	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/27 10:10	0.2	m ²			1
2	1	1	角材	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/27 10:10	0.05	m ²			1
3	1	1	可燃テープ	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/27 10:10	0.1	m ²			1
4	1	1	トンバック	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/27 10:10	0.4	m ²			1
5	1	1	紙ウエス	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/6/27 10:10	0.05	m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05	
			06	07	08	09	10					
①	B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15	
②	C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05	
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05	
②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	ゴムパッキン	C	01	D	A	0.1	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	06	—	0205

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.

6013803 - 0015

作

業

主

管

G

記

入

欄

メ

モ

保管希望日時

2018年6月27日

(水)

8:00

承認

審査

作成

作業件名

Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事

発生場所

Bエリア(GL-28 中央)

2018/6/22

2018/6/22

2018/6/22

作業主管G

貯留設備土木グループ

監理員

TEL

元請会社

担当者

TEL

線量測定年月日

2018/6/14

測定者

測定器名

βγ用電離箱

管理番号

F1-ICWBL-98

No.

保管物名

※カテゴリ

①

②

③

物 量

測定場所
雰囲気線量率

表面線量率

β・α
汚染の有無

β + γ
線量率

1

可燃物その他

A

04

D

B

2 m³

0.008 mSv/h

0.008 mSv/h

無

2

紙・ウエス類

A

01

D

B

2 m³

0.008 mSv/h

0.008 mSv/h

無

3

プラスチック・ポリ・ビニール類

A

02

D

B

1 m³

0.008 mSv/h

0.008 mSv/h

無

4

m³

5

m³

回収

固体廃棄物管理G記入欄

受付

受 付 番 号

高2018

—

06

—

0206

2018/6/22

調整後保管日時

2018年6月28日

8:00

【保管時の指示事項等】

受取日時を調整しております。

発生場所にて管理票の確認。

運搬車を配備致しますので

保管物の詰込みをお願いします。

線量測定内容

測定日

2018年6月28日

測定No.

氏名

測定器

管理番号

1

ICW

F1-ICW-158

2

3

4

保管実績記入欄

No.

枝番

保管物名

測定場所
雰囲気線量率

表面線量率

β + γ
線量率

保管場所

保管日時

物 量

再利用/
減容可否

コンテナNo.

測定No.

1

1

可燃物その他

2 μSv/h

2 μSv/h

エリアO

2018/6/28 8:10

0.2 m³

1

2

1

紙・ウエス類

2 μSv/h

2 μSv/h

エリアO

2018/6/28 8:10

0.3 m³

1

3

1

プラスチック・ポリ・ビニール類

2 μSv/h

2 μSv/h

エリアO

2018/6/28 8:10

0.8 m³

1

m³

m³

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カテゴリ

①

A

可燃物

01 紙・ウエス類

02 プラスチック・ポリ・ビニール類

03 木材類

04 可燃物その他

05 —

06 —

07 —

08 —

09 —

10 —

B

不燃物

01 金属ガラ

02 コンクリートガラ

03 機器類・制御盤類

04 土砂類

05 塩化ビニール類

06 保温材

07 石綿含有物

08 ケーブル類

09 アスファルトガラ

10 不燃物その他

11 フランジタンク本体

12 フランジタンク付属品

13 —

14 —

15 —

C

難燃物

01 ゴム類

02 難燃シート類

03 ホース類

04 難燃物その他

05 —

D

伐採木

01 伐採木(幹・根)

02 伐採木(枝・葉)

03 —

04 —

05 —

②

状 態

D:乾燥, W:湿気有

③

履 歴

A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年6月27日		(水)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	B南エリア						2018/6/22	2018/6/22	2018/6/22		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/5/25	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	コンクリートガラ			① B ② D ③ A	15 m³	0.008 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.07 mSv/h		
2					m³							
3					m³							
4					m³							
5					m³							
メモ	W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0207
				2018/6/25
調整後保管日時		2018年6月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年6月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	10 μSv/h	27 μSv/h	エリアW1	2018/6/27 8:00	15 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0208
				2018/6/25
調整後保管日時		2018年6月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月27日		(水)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	B南エリア					2018/6/22	2018/6/22	2018/6/22
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/5/25	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-101	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	15 m ³	0.008 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.07 mSv/h
	2				m ³				
	3				m ³				
4				m ³					
5				m ³					
W1ヤードに積み上げ(フレコンバック15袋)									

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	10 μSv/h	45 μSv/h	エリアW1	2018/6/27 9:30	15 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	状態	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年6月27日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	B南エリア				2018/6/22	2018/6/22	2018/6/22		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/5/25	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	15 m ²	0.008 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.07 mSv/h
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	W1ヤードに積み上げ(フレコンバック15袋)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0209
				2018/6/25
調整後保管日時		2018年6月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年6月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	18 μSv/h	35 μSv/h	エリアW1	2018/6/27 10:20	15 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015		固体廃棄物管理G記入欄		受付									
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年6月27日		(水)		11:00		承認		審査		作成										
	作業件名		Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																				
	発生場所		B南エリア						2018/6/22		2018/6/22		2018/6/22										
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL														
	元請会社						担当者		TEL														
	線量測定年月日		2018/5/25		測定者				測定器名		βγ用電離箱		管理番号		F1-ICWBL-101								
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率							
	1		コンクリートガラ			B 02 D A		15 m ³		0.008 mSv/h		0.05 mSv/h		β 有		0.07 mSv/h							
	2							m ³															
	3							m ³															
4							m ³																
5							m ³																
W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)																							
線量測定内容																							
測定日		2018年6月27日																					
測定No.		氏名		測定器		管理番号																	
1				ICWBL		F1-ICWBL-111																	
2																							
3																							
4																							
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.		
	1	1	コンクリートガラ		10 μSv/h		10 μSv/h		33 μSv/h		エリアW1		2018/6/27 11:15		15 m ³						1		
															m ³								
															m ³								
															m ³								
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
※カテゴリ																							
※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —											
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —											
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類											
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他											
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —											
		B	不燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —											
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —											
				② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」													
				注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																			
				注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																			
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業主管理	保管希望日時	2018年6月27日		(水)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機海側周辺構内整備工事									
	発生場所	3・4号機サービスビル建屋周辺 (GI-24)						2018/6/25	2018/6/25	2018/6/25	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/6/20	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282		
	G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
1		スクラップ・6m3コンテナ・ZK-00803	B	01	D	A	5 m³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h
2		スクラップ・6m3コンテナ・ZK-01045	B	01	D	A	5 m³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h
3		スクラップ・6m3コンテナ・ZK-00920	B	01	D	A	5 m³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h
4		スクラップ・6m3コンテナ・ZK-01065	B	01	D	A	5 m³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h
5	スクラップ・6m3コンテナ・ZK-01067	B	01	D	A	5 m³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h	
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0211
				2018/6/26
調整後保管日時		2018年6月27日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年6月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-34	
2				
3				
4				

保管実績記入欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	スクラップ・6m3コンテナ・ZK-00803	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/6/27 9:20	6 m³		ZK-00803	1
	4	1	スクラップ・6m3コンテナ・ZK-01065	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/6/27 9:20	6 m³		ZK-01065	1
									m³			
									m³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0212
				2018/6/26
調整後保管日時		2018年6月29日		10:00
【保管時の指示事項等】				
日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年6月28日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	#1ガレキ撤去工事								
	発生場所	発生場所 鉄塔ヤード (GP-22北)						2018/6/25	2018/6/25	
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/6/22	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-98		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃物:可燃物その他(トッ袋)			A 04 W B	3 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	可燃物:可燃物その他(発泡ウレタン)			A 04 W B	0.03 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	可燃物:可燃物その他(床養生材)			A 04 W B	1.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
4					m ²					
5					m ²					
メモ	1) 結露してます 2) 線量測定年月日:① 6/16 ② 6/22 / 巡回回収									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物:可燃物その他(トッ袋)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 10:00	3 m ²			1
	2	1	可燃物:可燃物その他(発泡ウレタン)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 10:00	0.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月28日		(木)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	#1ガレキ撤去工事								
	発生場所	回収場所 鉄塔ヤード(GP-22北)						2018/6/25	2018/6/25	
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/6/22	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-98	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	可燃物:ポリエチレン製品(カネイト)			A 02 W B	3.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
2	可燃物:ビニール類			A 02 W B	0.3 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
1) 結露してます 2) 線量測定年月日:① 6/16 ② 6/22 / 巡回回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0213
				2018/6/26
調整後保管日時		2018年6月29日		10:30
【保管時の指示事項等】				
日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年6月29日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物:ポリエチレン製品(カネイト)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/29 10:00	3.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0214
				2018/6/26
調整後保管日時		2018年6月29日		10:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月29日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	#1ガレキ撤去工事									
	発生場所	回収場所 鉄塔ヤード(GP-22北)					2018/6/25	2018/6/25	2018/6/25		
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/6/22	測定者		測定器名	電 離 箱	管理番号	F1-ICWBL-98			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	難燃物:難燃シート		C	02	W	B	0.01 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2							m ²			
	3							m ²			
4							m ²				
5							m ²				
1) 結露してます / 巡回回収											

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物:難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/6/29 10:30	0.01 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028						
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年6月28日		(木)	10:00		承認	審査	作成							
	作業件名	G1エリアタンクリリース関連工事														
	発生場所	H4東側仮置き場						2018/6/26	2018/6/26	2018/6/26						
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL									
	元請会社					担当者	TEL									
	線量測定年月日	2018/6/14	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27						
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
				①	②	③										
		1	サニークース		B	05	D	B	5	m ³	0.013	mSv/h	0.013	mSv/h	無	
		2							m ³							
3								m ³								
4							m ³									
5							m ³									
メモ	回収: GM-25中央															
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.				
	1	1	サニークース	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 10:00	2 m ³			1				
									m ³							
									m ³							
									m ³							
									m ³							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ																
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—			
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—			
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類			
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他			
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—			
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—			
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
		D	伐採木													
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0218
				2018/6/27
調整後保管日時		2018年6月29日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年6月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年6月29日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンクリリース関連工事								
	発生場所	G4南エリア				2018/6/26	2018/6/26	2018/6/26		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/6/14	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-31		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	B	1 m ²	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A 01	W	B	2 m ²	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
3	難燃シート類	C 02	D	B	2 m ²	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無		
4					m ²					
5					m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 廃材回収希望エリア(1F標準グリット図 GT-23中央)										

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 9:00	1.5 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 9:00	1.2 m ²			1
	3	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/29 9:00	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013402 - 0040
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業主管理欄	保管希望日時	2018年6月28日		(木)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)								
	発生場所	6B D/G建屋 1FL 6BD/G室						2018/6/26	2018/6/26	2018/6/26
	作業主管G	機械グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/5/23	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ゴム類		C	01	W	A	2 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2	ゴム手袋		C	01	D	A	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
3	難燃シート類		C	02	W	A	2.5 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
4							m ²			
5							m ²			
メモ	回収:GJ-13南西(6B D/G機器搬入口前)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	06	—	0219
				2018/6/27
調整後保管日時		2018年6月28日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年6月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 10:15	0.25 m ²			1
	2	1	ゴム手袋	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 10:15	0.05 m ²			1
	3	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/6/28 10:15	0.4 m ²			1
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。